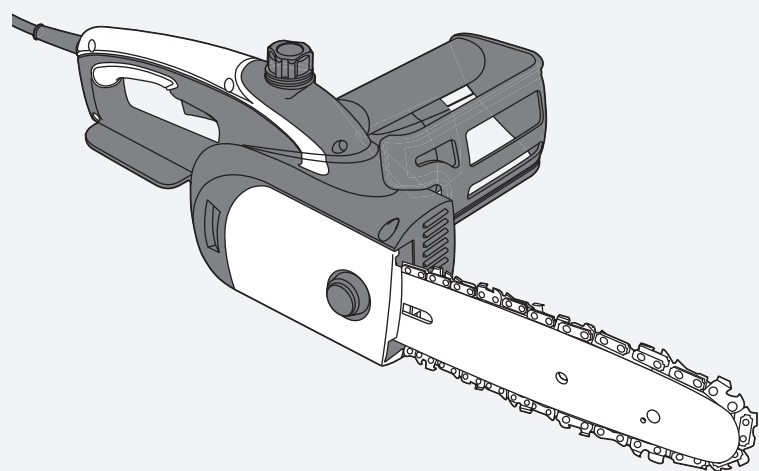


電気チェーンソー 250mm

CSE-250CA



回 二重絶縁

電気回路と使用者間を二重に絶縁した構造のこと。

お客様へ

- 本製品は家庭用です。業務用にはお使いにならないでください。

取扱説明書

ご使用前に本紙最終ページ「保証書」を必ずお読みになり、内容をご確認・ご了承ください。

また、取扱説明書の内容を十分理解したうえで使用し、お手元に大切に保管してください。

目次

お使いになる前に 1

安全にお使いいただくために

電動工具を安全にお使いいただくために

本製品を安全にお使いいただくために

本製品について 8

用途

各部の名称・セット内容

仕様

使用前の準備 10

作業を行う前の確認

フロントガードについて

チェーンソーオイルについて

ソーチェーンの調整

使い方 14

スイッチ引金の操作

試運転

切り方の基本

お手入れ 18

ソーチェーンの目立てについて

ソーチェーンの取り外し・取り付け

保守・点検

お手入れと保管

お買い上げの後に 26

保証書

お使いになる前に

安全にお使いいただくために

- 必ず取扱説明書をよくお読みになり正しくお使いください。取り扱いに不慣れな人や正しい操作のできない人はお使いにならないでください。
- 本製品を正しく安全にお使いいただき、ご自身や周囲に危険がおよぶ可能性を防止するために、下記のように『警告』・『注意』・『注』の3種に区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってお使いください。また、本製品は家庭用として開発されています。家庭用としてお使いください。
- 『注意』に記載した事項でも状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。

 警告	人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容
 注意	人が傷害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容
 注	本製品や付属品の取り扱いなどに関する重要な注意事項

電動工具を安全にお使いいただくために

※本項目は共通項目ですので、製品により内容が一致しない場合があります。

警告

1. 作業場所はいつもきれいに保ってください。
 - 作業場所はいつも整理・整頓し、きれいに保ってください。
また、作業の妨げになる物は取り除いてください。
2. 作業場の周囲状況も考慮してください。
 - 作業場は十分明るくしてください。
 - ガソリン・シンナー・塗料・接着剤など引火性の液体や可燃性の物、ガスのある場所では使用しないでください。(爆発・火災の原因)
 - 濡れた所や湿気の多い所・雨中では使用しないでください。(感電・故障の原因)
3. 作業者以外を近づけないでください。
 - 特にお子様は作業場や本製品に近づけないでください。
4. 作業に適した服装で作業してください。
 - 作業をするときは保護メガネを着用してください。
 - 作業に適した服装(すそじまりの良い長袖・長ズボン)で作業してください。だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は回転部に巻き込まれる恐れがあるので着用しないでください。

- 軍手など巻き込まれる恐れのある素材の手袋は着用しないでください。
- 長い髪は帽子などで覆ってください。
- 粉じんなどが多く発生する作業では保護マスクを着用してください。
- 作業音の大きい場合は、耳栓・耳覆い(イヤマフ)など防音保護具を着用してください。

5. 損傷した部品がないか確認してください。

- 商品開封後は梱包内容を確認し、輸送による破損・ゆرمい・ひび割れなど本製品や付属品に異常がないことを確認してください。
- 作業前には必ず試運転を行い、本製品の破損・ゆがみ・異常音などがいないことを確認してから作業してください。
- 本製品を誤って落としたりぶつけたときは、破損や亀裂がないことを確認してください。

6. 正しい付属品やアタッチメントを使用してください。

- この取扱説明書に記載されている付属品やアタッチメント以外の物は使用しないでください。
- また、取扱説明書に従って正しく取り付けてください。(部品脱落や故障によるケガの原因)

7. 調整や点検に用いた工具は必ず取り外してください。

- 電源プラグをコンセントに差し込む前に、調整・取り付けに用いた工具が取り外されていることを確認してください。

8. 作業に合った電動工具を使用してください。

- 小型の電動工具やアタッチメントは大型の電動工具で行う作業には使用しないでください。
- 指定された用途以外に使用しないでください。

9. 無理な使用をしないでください。

- 安全に能率良く作業するため、電動工具の能力に合わせて作業してください。
- 足元の不安定な場所や無理な姿勢で使用しないでください。

10. 感電に注意してください。

- 濡れた手での取り扱いや電源プラグの抜き差しはしないでください。(感電の原因)
- 本製品の使用中に、身体をアース(接地)されている物(エアコンの室外機や金属製の支柱など)に接触させないでください。(感電の原因)

11. 通気孔をふさがないでください。

- 本製品の通気孔は本体を冷やすために必要ですので、布などで覆ってふさがないでください。(火災・故障の原因)

お使いになる前に(続き)

12. 使用電源は必ず家庭用 AC100V電源を使用してください。

- 200V用電源に接続して使用しないでください。(火災・故障の原因)
- 発電機やインバータ電源・DC電源・仮設電源での使用はしないでください。
(火災・故障の原因)

13. コードなどの取り扱いに注意してください。

- 使用する前に、必ず電源コード・電源プラグを点検してください。無理に引っ張ったり挟んだりしないでください。また、コードを高熱の物・油や角のとがった所に近づけないでください。(火災・感電・故障の原因)
- コンセントから電源プラグを抜き差しするときは、必ず電源プラグを持って抜き差ししてください。(火災・故障の原因)
- 作業者以外は本製品やコードに触れさせないでください。
- 感電防止のため、漏電遮断器の設置をおすすめします。

14. 不意な始動はさけてください。

- 電源プラグをコンセントに差し込む前に、スイッチが切れていることを確認してください。
- 本製品を移動する場合や付属品を交換するときは、必ずスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。また、スイッチに指をかけて運ばないでください。
- 使用しない場合・作動すると危険な場合・停電のときは電源プラグをコンセントから抜いてください。

15. 材料側を動かして加工する場合を除き、加工物はしっかりと固定してください。

- 加工物・対象物は必要に応じてクランプや万力などで固定してください。手で加工物を保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。

16. 本体作動部には触れないでください。

- 作動中回転部やその付近に手や身体、顔を近づけないでください。(ケガの原因)

17. 作動している状態のまま放置しないでください。

18. 高所作業のときは、下に人がいないことをよく確認してください。

- 高所作業のときにコードを引っ掛けたりした場合、事故・ケガの原因となります。

19. 油断せず、十分注意して使用してください。

- 本製品を使用する場合は、取扱方法・作業の仕方・周りの状況などに十分注意して慎重に使用してください。
- 疲れていたり、体調のすぐれないときは使用しないでください。
- 長時間の連続作業は疲労による事故の原因となります。

20.ヤケドに注意してください。

- 使用直後は、本体(モーター)や加工物が熱くなっていることがあります。冷えるまで直接手肌に触れないようにしてください。

21.定期的に点検してください。

- 電源プラグ・通気孔にほこりや粉じんなどが付着している場合には、よく取り除いてください。(火災・故障の原因)

22. 使用しないときはきちんと保管してください。

- 使用しないときは、直射日光のあたらない・風通しの良い・乾燥した場所で、お子様の手の届かない安全な所や、カギのかかる所にきちんと保管してください。

23. 分解・改造をしないでください。

- 本製品にはいかなる改造も加えないでください。

24.ご自分で修理しないでください。

- 故障・異常時はただちにスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて本製品の使用を中止し、お買い上げの販売店にお申しつけください。または(株)高儀「お客様相談窓口」に相談してください。
- 修理の知識や技術のない方が修理すると事故やケガの原因となります。

この取扱説明書は大切に保管してください。
また、本製品を貸し出す場合は、この取扱説明書も一緒に渡してください。

お使いになる前に(続き)

注意

1.延長コードを使用する場合

- 延長コードが必要な場合は、定格電流が15A以上の物を使用してください。(最大20mまで)
- ドラム式の延長コードを使用する場合は、発熱による電圧降下や火災事故を防止するため、コードは全て引き出して使用してください。
- 使用する延長コードの取扱説明書・注意事項などをよく読み正しく使用してください。

2.本製品は短時間の使用を前提に設計されています。

- 長時間の連続使用はしないでください。(故障・破損の原因)

3.騒音に注意してください。

- 法令および各都道府県などの条例で定められた騒音防止規制を守り、周辺に迷惑をかけないように状況に応じて遮音壁を設けるなどして規制値以下で使用してください。

4.作業後の加工物に注意してください。

- 作業直後の加工物は熱くなっていることがあります。冷えるまで直接手肌に触れないでください。(ヤケドの原因)
- 作業後の加工物には、かえりができていることがありますので注意してください。(ケガの原因)

5.こまめにお手入れしてください。

- 安全に能率よく作業するために刃物類は常にお手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
- 本製品は定期的に点検し、損傷している場合はお買い上げの販売店に修理をお申しつけください。または(株)高儀「お客様相談窓口」に相談してください。
- 本製品に油やグリースが付着した場合は、柔らかい布で乾拭きしてください。
- 汚れの著しい場合は、薄めた中性洗剤を使用して水拭きしてください。その後、乾いた布で水分が残らないように拭き取ってください。
- ワックス・アルコール類・シンナー・ベンジンなどは使用しないでください。(故障・破損の原因)

6.その他

- 火のそばや閉め切った車内・直射日光のあたる場所・高温になる場所には、放置・保管しないでください。変形・変色・劣化の恐れがあります。

本製品を安全にお使いいただくために

本製品は家庭用です。木や木製品以外の物には使用しないでください。想定外の重大事故が起こる可能性があります。樹木を切り倒す作業(伐木作業)は、法・規則で定める特別教育や講習などの適切な指導を受ける必要があります。関連法令:労働安全衛生法 第59条3項、労働安全衛生規則 第36条8号の2 安全衛生特別教育規程 第10の2

警告

- 1.必ず本製品に表示してある電圧(家庭用AC100V)で使用してください。
- 2.この取扱説明書に記載された用途以外に使用しないでください。
- 3.使用前に必ず人のいない方向へ向け、無負荷で1分以上試運転を行い本製品に不具合がないことを確認してください。
 - 特に初めて使用するときやソーチェーンを交換したときは3分以上の試運転を行ってください。
- 4.ソーチェーンを取り扱うときは必ず保護手袋を着用してください。(ケガの原因)
- 5.作業するときは保護手袋・保護メガネやフェイスガード・防音保護具を着用して作業に適した服装で行ってください。
- 6.指定以外のソーチェーンなどは使用しないでください。(事故やケガの原因)
- 7.ソーチェーンを取り付けるときは回転方向に注意して取り付けてください。(ケガの原因)
- 8.使用ごとにチェーンオイルの残量を確認してください。(ガイドバー・ソーチェーンの早期摩耗・本体故障の原因)
- 9.肩の高さより高い位置で使用しないでください。(ケガの原因)
- 10.脚立や不安定な場所で作業しないでください。
- 11.使用中は、本体のグリップ・フロントグリップ両方を両手で確実に保持してください。(反発力に対処できずに事故やケガの原因)
- 12.本体をバイスなどで固定して使用しないでください。
- 13.使用中は、作動部に手や顔などを近づけないでください。(ケガの原因)
- 14.切断はガイドバーの根元部分で行い、先端部分では作業を行わないでください。また、作業中にソーチェーン先端部分などが地面や他の物に触れないように注意してください。(はね返りの原因)
- 15.あまりにも小さな物の加工は危険ですのでしないでください。また加工する物はしっかり固定してください。
- 16.使用中は、電源コードをキズつけないように注意してください。
 - 電源コードは、常に本体の後方になるようにしてください。
 - 電源コードを加工物の上にのせたまま作業しないでください。
 - 作業中に電源コードが破損した場合は、電源コードに触れないようにして、速やかにスイッチを切り電源プラグをコンセントから抜いてください。また破損した電源コードのままで絶対に使用しないでください。

お使いになる前に(続き)

17. スイッチ引金を引くときはソーチェーンに加工物などがあたっていないことを確認してください。
18. 加工物の中に異物(釘・ネジなど)や、加工物の下に障害物がないか確認のうえ作業してください。(強い反発力によるケガの原因)
19. 切断開始・切断終了後には強い力が働きますので注意してください。
20. 加工物は可能な限り水平な場所にしっかり固定して切断してください。加工物を切断後のバランスも考慮して固定してください。
21. 切り落とし寸前や切断中に、ソーチェーンやガイドバーが加工物に挟まれないように注意してください。切断する部分から近い位置に、支える台を設けてください。また、加工物切断後の切り落とし材に注意してください。

注 意

1. 本製品は家庭用です。建築作業など精度が必要な作業には使用しないでください。
2. スイッチの操作は、作動部が身体に触れた状態や加工物・作業台の上に置いた状態でしないでください。(ケガ・加工物破損の原因)
3. 本体に切りくずやゴミなどが入らないように注意してください。入った場合は逆さにするなどしてゴミを取り除いてください。
4. 常温(0～40℃)で使用してください。
5. 使用しないときは、ガイドバーにチェーンカバーをしてソーチェーンがむき出しにならないようにしてください。



モーターの特性上、使用中に通気孔内部から火花が見えることがありますが故障ではありません。

本製品について

用 途

警告

- 本製品は家庭用です。
- 木や木製品以外の物には使用しないでください。想定外の重大事故が起こる可能性があります。
- 樹木を切り倒す作業(伐木作業)は、法・規則で定める特別教育や講習などの適切な指導を受ける必要があります。

関連法令:労働安全衛生法 第59条3項、労働安全衛生規則 第36条8号の2
安全衛生特別教育規程 第10の2

◆丸太・角材など木材の切断 ◆薪切り作業

各部の名称・セット内容

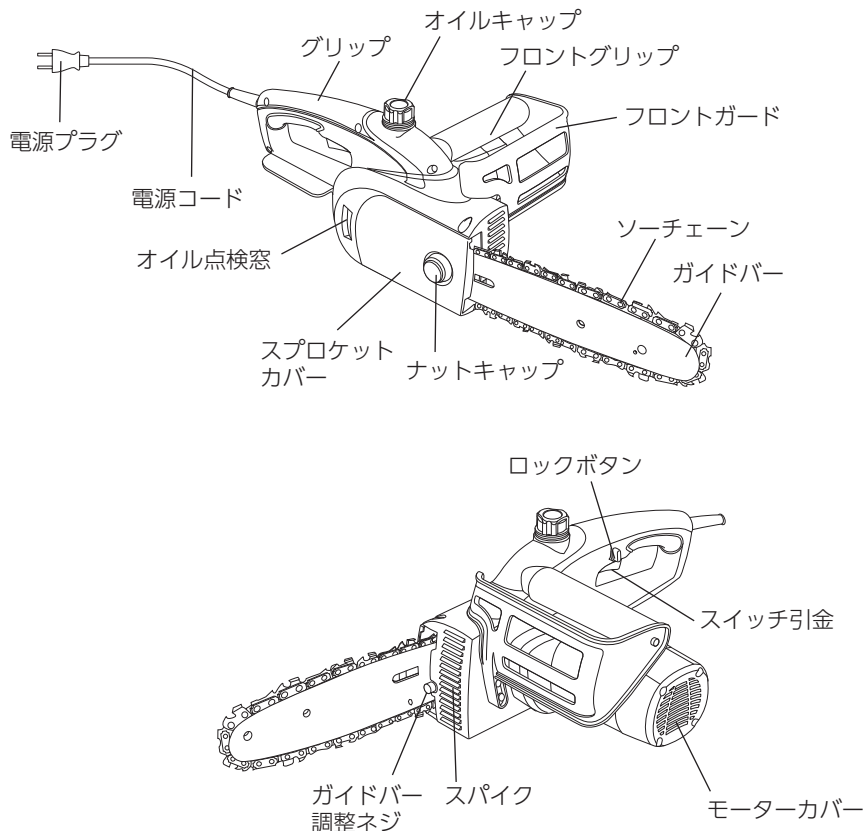
要 確 認

初めて梱包を開封したときは、下記の内容について確認してください。

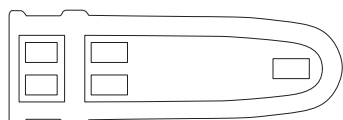
- 付属品が全て揃っているか
- 破損した箇所はないか

万一不具合な点がありましたらお買い上げの販売店、または(株)高儀までご連絡ください。

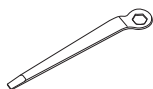
本 体



付属品



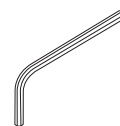
チェーンカバー×1



メガネレンチ×1



チェーンソーオイル (100ml)×1



六角棒レンチ×1

本製品について(続き)

仕様

本体

●CSE-250CA

電	圧	AC100V					
周	波	数	50/60Hz				
電	流	8.5A					
定	格	消	費	電	力	800W	
チ	ェ	ー	ン	ス	ピー	ド	約9.5m/s
有	効	切	断	長	約	250mm	
オ	イ	ル	タン	ク	容	量	約90ml
運	転	音	約83dB/m				
本	体	サ	イ	ズ	約長さ550×幅200×高さ165(mm)		
コ	ー	ド	長	約2m			
質	量	約2.9kg					
定	格	時	間	30分			

付属ソーチェーン

コ	マ	数	40
ゲ	ー	ジ	.050" (1.3mm)
ピ	ッ	チ	3/8"

(OREGON社 91PX-40E 相当)

※商品改良のため、仕様・外観は予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

使用前の準備

作業を行う前の確認

1. 使用電源を確認してください。

- 必ず本製品に表示されている電圧（家庭用 AC100V）で使用してください。



- 発電機やインバータ電源・DC電源・仮設電源での使用はしないでください。

2. 漏電遮断器が設置されている電源をお勧めします。

- 本製品は二重絶縁構造ですが、万一の感電防止のため、漏電遮断器が設置されている電源に接続することをおすすめします。

3. スイッチが切れていることを確認してください。



- 使用しない場合や不意に始動すると危険な場合は必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

4. フロントガードが正しく取り付けられていることを確認してください。

- 取扱説明書に従って正しい状態か確認してください。

5. ソーチェーンの張り具合の確認

- ソーチェーンが適切に張られていることを確認してください。(P13「ソーチェーンの調整」参照)
適切に張られていないと故障や、ソーチェーン・ガイドバーの破損の原因になります。

6. チェーンソーオイルの確認



- 本製品はオイルタンクにチェーンソーオイルを入れずに出荷しています。使用する前に必ずチェーンソーオイルを入れてください。(P.12「チェーンソーオイルについて」参照)

- 本体を平らな所に置いた状態で、オイル点検窓でチェーンソーオイル残量を確認してください。(P.12「チェーンソーオイルについて」参照)

使用前の準備(続き)

7. 作業前には必ず人のいない方向に向け、無負荷で1分以上の試運転を行ってください。

警告

- スイッチ引金の操作は、作動部が身体に触れた状態や加工物・作業台の上に置いた状態でしないでください。(ケガ・加工物破損の原因)
- 特に初めて使用するときは、3分以上の試運転を行ってください。

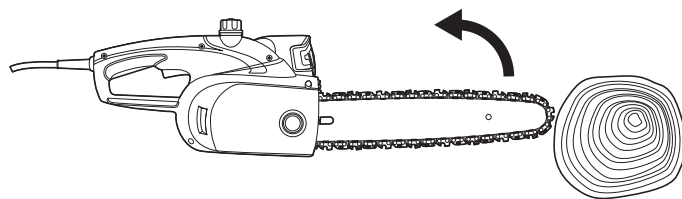
8. チェーンソーオイル吐出の確認

- スイッチ引金を引くとソーチェーン・ガイドバーに自動的にチェーンソーオイルが注油されます。試運転を行い、ソーチェーンを敷物などに近づけてソーチェーンからオイルが飛散していることを確認してください。2～3分間回転させてもオイルが出ない場合はチェーンソーオイルの吐出口に切りクズが溜まっていないか確認してください。(P.23「清掃」参照)

9. 下記項目は起きると大変危険な現象ですので、作業方法を守って正しく使用してください。

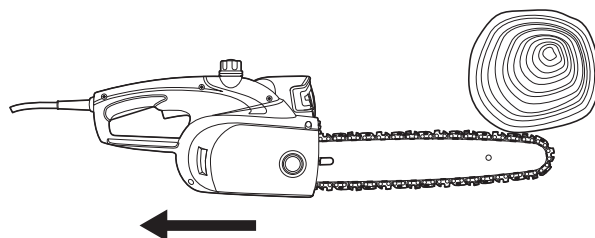
●キックバック (はね返り)

ガイドバー先端に硬い物があたったり挟まったりしたときに、チェーンの回転方向とは逆の手前方向に突発的な力が働くこと。



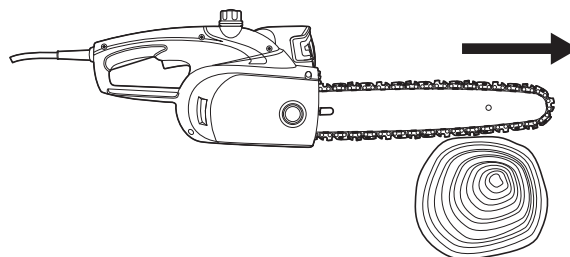
●プッシュバック

刃の上部に硬い物があたったり挟まったりすると、本体が作業者の方向に強く押し付けるように動くこと。



●プルイン

刃の下部に硬い物があたったり挟まったりすると機械が前方に飛び出すように動くこと。



【キックバック・プッシュバック・プルインを避けるには】

- ソーチェーンの先端で切ろうとしたり、物を接触させたりしない。
- 必ず回転が安定してから切り始め、スイッチを切らずに最後まで切る。
- ソーチェーンが摩耗したり、ゆるんだ状態で使用しない。
- スパイクを加工物に当ててガイドバーの根元で切り始める。

フロントガードについて

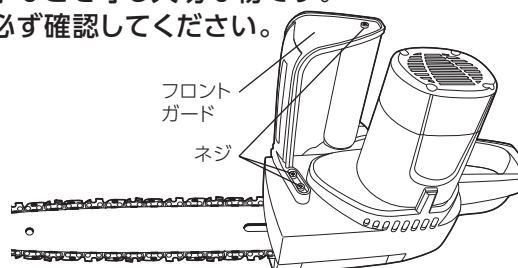


- フロントガードの点検には⊕ドライバーが必要です。セット内容には含まれておりませんので、お手持ちの物を用意してください。

フロントガードは万一、ソーチェーンが切れた場合などに作業者の手などを守る大切な物です。モーターなどの振動でゆるんでいる場合がありますので作業前に必ず確認してください。

- フロントガードはネジ(3箇所)で取り付けられています。しっかりとネジが締まっているか確認してください。

もしゆるんでいた場合は、⊕ドライバーで締め直してください。



チェーンソーオイルについて



- ゴミなどの異物の混入したチェーンソーオイルは使用しないでください。



- 使用するごとに必ずチェーンソーオイルの残量を確認してください。オイル切れやオイルの潤滑不良は故障、ガイドバー・ソーチェーンの早期摩耗の原因となります。



- オイルキャップはしっかり閉めてください。(オイル漏れ防止)

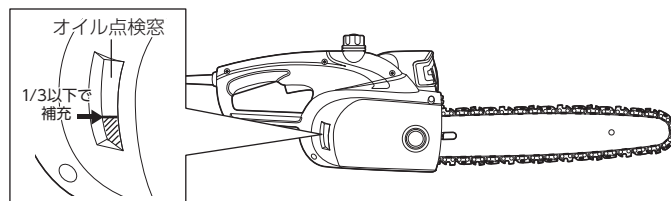
本製品はオイルタンクにチェーンソーオイルを入れずに出荷しています。使用する前に必ずチェーンソーオイルを入れてください。

付属のチェーンソーオイルが無くなった場合は、市販のチェーンソーオイルを使用してください。

本製品はスイッチ引金を引くたびにガイドバーの溝に自動的にチェーンソーオイルが注油されます。

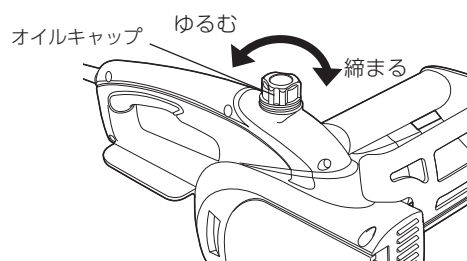
チェーンソーオイル残量の確認

本体を平らな所に置いた状態で、オイル点検窓でチェーンソーオイル残量を確認してください。目安としてオイル点検窓から見える量が1/3以下になったら補充してください。



給油方法

オイルキャップを左に回転させてキャップを外し、給油してください。給油後はキャップを右に回転させてオイルキャップを閉めてください。



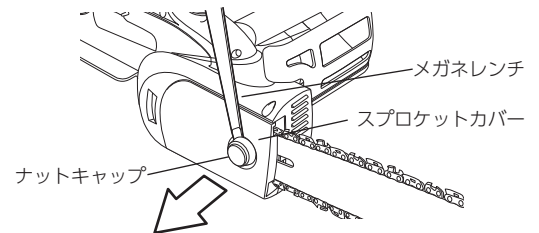
使用前の準備(続き)

ソーチェーンの調整

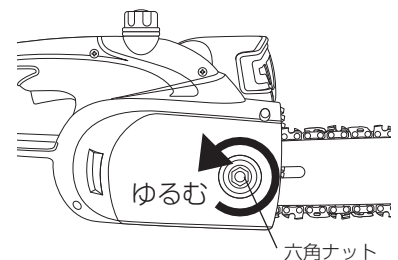
警告

- ソーチェーンを取り扱うときは、必ずスイッチが切れていることを確認して電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ソーチェーンを取り扱うときは必ず保護手袋を着用してください。
- 作業ごとに必ずソーチェーンの点検・調整をしてください。
- ソーチェーンの張りは適切にしてください。特に新品のソーチェーンは多少伸びが発生しますので、こまめに張りを調整してください。

1. ナットキャップとスプロケットカバーの間に付属のメガネレンチを差し込んで、ナットキャップを手前に外してください。



2. 六角ナットを付属のメガネレンチで少しゆるめてください。

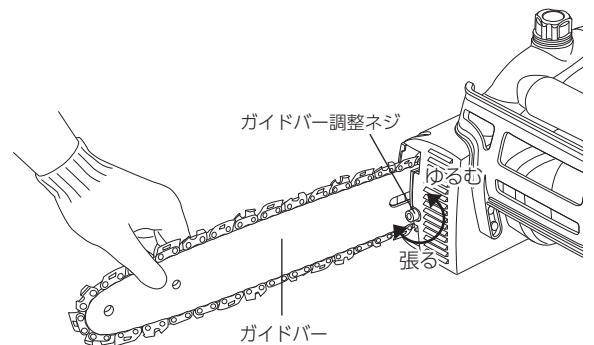


3. ガイドバーの先端部分を持ち上げながら、ガイドバーの根元にあるガイドバー調整ネジを、付属の六角棒レンチで回してソーチェーンの張りを調整します。

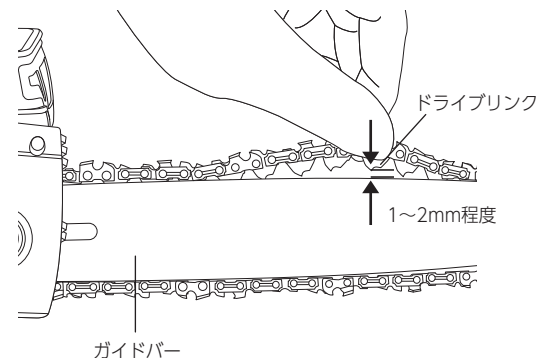
ガイドバー調整ネジ

ソーチェーン

- | | | |
|------------|---|-----|
| 右回転(時計回り) | → | 張る |
| 左回転(反時計回り) | → | ゆるむ |



ソーチェーンの張りは、ガイドバー中央でソーチェーンを指で引き上げて確認します。(本体が浮かない程度の力) ガイドバーとソーチェーンのドライプリングの隙間が1～2mm程度になるように調整してください。



4. 調整後、六角ナットをしっかり締め、ナットキャップを元のようにかぶせてください。

※六角ナットは確実に締め付けてください。ゆるむとソーチェーンが外れる恐れがありケガの原因になります。

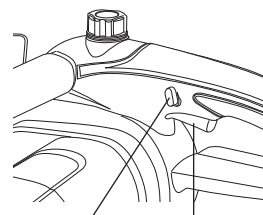
使い方

スイッチ引金の操作

警告

- 電源プラグをコンセントに差し込む前に、必ずスイッチ引金に指が触れていないことを確認してください。
- ロックボタンを押し込んだ状態で固定しないでください。
- ロックボタンを押したときだけスイッチ引金が行けることを確認してください。

ON →ロックボタンを押し込んだままスイッチ引金を引いてください。
OFF→スイッチ引金を戻します。
※スイッチ引金が元の位置に戻っていることを確認してください。



ロックボタン スイッチ引金

試運転

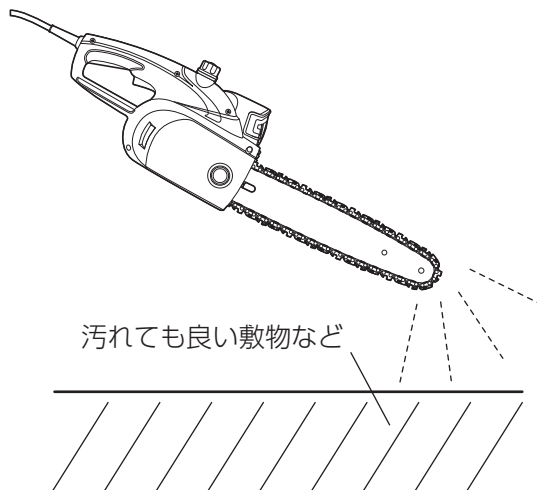
警告

- 試運転のときも、作業と同じ服装や装備で行ってください。
- 各パーツの取り付け・調整をしてから試運転を行ってください。
- 使用中は、本体のグリップ・フロントグリップ両方を両手で確実に保持してください。
- 使用中は、作動部に手や顔を近づけないでください。(ケガの原因)
- 使用中は、電源コードをキズつけないように注意してください。
- スイッチ引金を引くときはソーチェーンに加工材などが当たっていないことを確認してください。
- 調整に使用した工具は必ず全て取り外してください。

注意

- オイルが飛散しますので、汚れても良い場所・服装で行ってください。

- 1.汚れても良い所で行うか、もしくは汚れても良い敷物を敷いてください。
- 2.本体のグリップ・フロントグリップ両方を両手で確実に保持してスイッチ引金を引いてください。
- 3.ソーチェーンを敷物などに近づけて、ソーチェーンからオイルが飛散していることを確認してください。
※2～3分間回転させてもオイルが出ない場合は、チェーンソーオイルの吐出口に切りクズが溜まっていないか確認してください。(P.23「清掃」参照)
- 4.無負荷で3分以上回転させて、異常な振動やソーチェーンのブレなどがなければ確認してください。



使い方(続き)

切り方の基本

本製品は家庭用です。

木や木製品以外の物には使用しないでください。想定外の重大事故が起こる可能性があります。

樹木を切り倒す作業(伐木作業)は、法・規則で定める特別教育や講習などの適切な指導を受ける必要があります。関連法令:労働安全衛生法 第59条3項、労働安全衛生規則 第36条8号の2

安全衛生特別教育規程 第10の2

警告

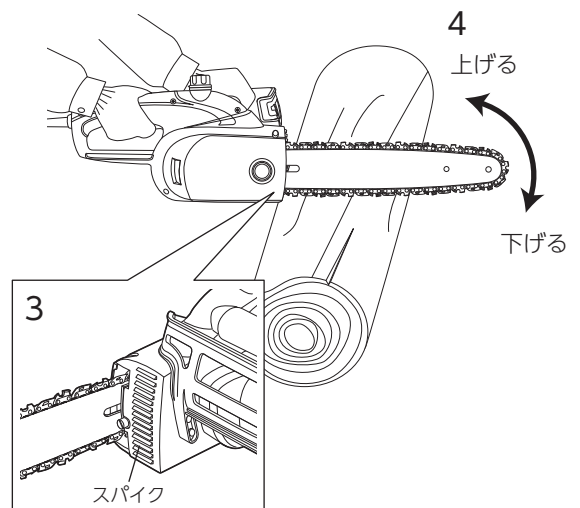
- 使用中は、本体のグリップ・フロントグリップ両方を両手で確実に保持してください。
- 使用中は、作動部に手や顔を近づけないでください。(ケガの原因)
- 使用中は、電源コードをキズつけないように注意してください。
- 電源コードは、常に本体の後方になるようにしてください。また、加工物の上にのせたまま作業しないでください。
- 作業中に電源コードが破損した場合は、電源コードに触れないようにして、速やかにスイッチを切り電源プラグをコンセントから抜いてください。また破損した電源コードのままで絶対に使用しないでください。
- スイッチ引金を引くときはソーチェーンに加工物などが当たっていないことを確認してください。
- あまりにも小さな物の加工は危険です。また加工する物はしっかり固定してください。
- 加工物の中に異物(釘・ネジなど)や、加工物の下に障害物がないか確認のうえ作業してください。(強い反発力によるケガの原因)
- 切断はガイドバーの根元部分で行い、先端部分では作業を行わないでください。また、作業中にソーチェーン先端部分などが地面や他の物に触れないように注意してください。(キックバック(はね返り)の原因)
- 加工物は可能な限り水平な場所にしっかり固定して切断してください。加工物を切断後のバランスも考慮して固定してください。
- 切り落とし寸前や切断中に、ソーチェーンやガイドバーが加工材に挟まれないように注意してください。切断する部分から近い位置に、支える台を設けてください。また、加工物切断後の切り落とし材に注意してください。

注意

- 本製品は短時間の使用を前提に設計されています。長時間の連続作業はしないでください。(故障・破損の原因)
- 傾斜のない平坦な場所で作業してください。不安定な場所で作業するとケガ・事故の原因になります。

正しい切り方ができるように練習してください。数本切るとうまくできます。

- 1.加工物をしっかりと固定してください。
※地面からできるだけ離して固定してください。地面に近すぎると、切断後地面にソーチェーンがあたり、ソーチェーンの損傷やチェーンソー本体がはね返る場合があります。危険です。
- 2.本体のグリップ・フロントグリップ両方を両手で確実に保持して加工物などに触れていないことを確認してスイッチ引金を引いてください。
- 3.回転が安定したら、本体のスパイクを加工物につけて、ガイドバーの根元をゆっくり加工物にあてて切断します。
※先端切りは、本体がはね上がり危険です。必ず根元の部分で切断してください。
- 4.大きい加工物の場合は、スパイク部分を支点にしてデコの運動をしながら切断してください。
- 5.完全に切断した後に、スイッチ引金を戻してください。

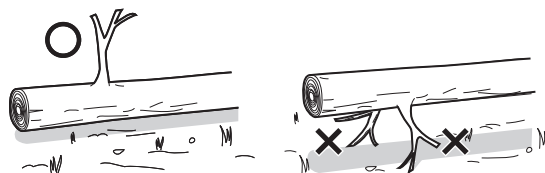


枝払い作業

警告

- 枝払い作業は木が倒れている状態で行ってください。
- 足場の悪い所での作業はしないでください。
- 切り落とした枝などの動きに十分注意してください。

枝払いは、幹の重みが掛かっていない状態の枝を切り落としてください。



造材作業

警告

- ガイドバーやソーチェーンが加工物に挟まれると、プルインやプルバックが起こり非常に危険です。挟まれないよう十分に注意してください
- 切り落とした加工物に注意してください。

地面からできるだけ離して固定してください。地面に近すぎると、切断後地面にソーチェーンがあたり、ソーチェーンの損傷やチェーンソー本体がはね返る場合があります。

●片方のみを支持した加工物の切断

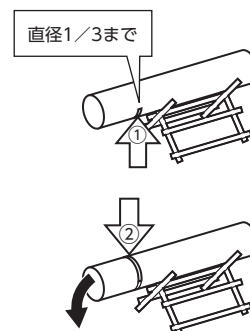
ガイドバー・ソーチェーンが挟まれることを防ぐために2回に分けて切断してください。

1.第1カット

加工物の下から、ガイドバー上側の根元からあてて加工物の直径1/3まで切断します。

2.第2カット

第1カットの真上から、第1カットに達するまで切り込んで切断してください。



●両方を支持した加工物を切断

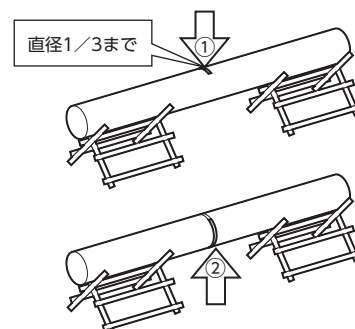
ガイドバー・ソーチェーンが挟まれることを防ぐために2回に分けて切断してください。

1.第1カット

加工物の上から、加工物の直径1/3まで切断します。

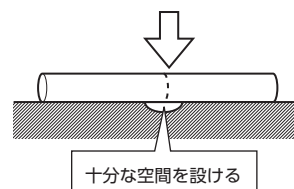
2.第2カット

第1カットの真下から、ガイドバー上側の根元からあてて第一カットに達するまで切り込んで切断してください。



●加工物が地面に横たわっている場合

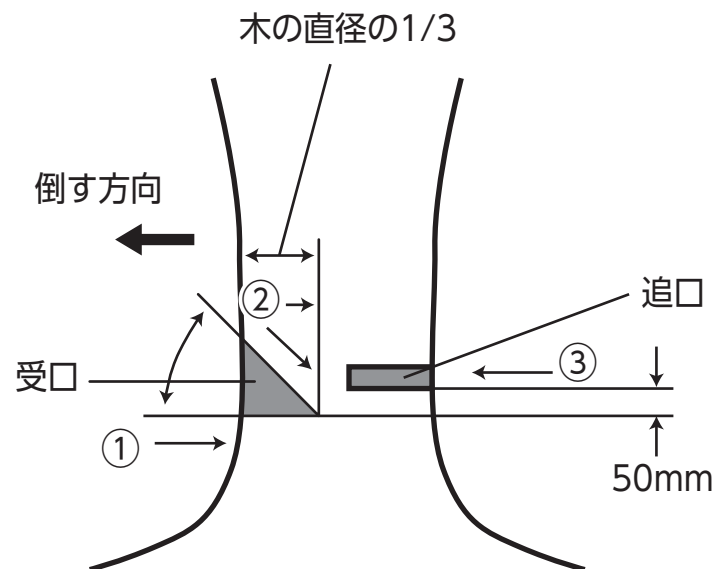
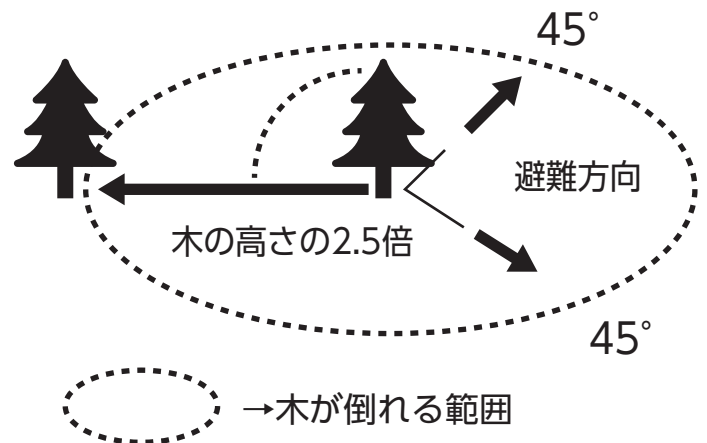
地面の一部を掘ったり、枕木を下に敷いたりしてソーチェーンやガイドバーが加工物以外の物に接触しないように十分な空間を設けて、上から下に切断してください。



使い方(続き)

樹木を切り倒す場合

1. 切断する木の傾き、大きな枝の位置、風向きなどを考慮し倒す方向、避難する方向を決めてください。
※倒す方向の「木の高さ×2.5倍」の間に障害物が無いことを確認してください。
※避難方向は倒す向きの反対側、斜め45°を目安としてください。
2. 足場の安全を確保します。切断する木が斜面にある場合は、必ず山側に安全な足場を確保してください。
3. 右図のように伐り倒す方向に直径の1/3程度の切れ込みを①、②の順に入れて受口を作ってください。
4. 受口の水平部より約50mm上部に、受口の水平部と平行に追口③を切込んでください。
5. 追口の切込みが樹心を越えると木が倒れ始めます。木が倒れ始めたら、切口よりチェーンソーを離し、その場にチェーンソーを置いて避難してください。
6. 木が所定の方向に倒れそうもない場合や、ソーチェーン・ガイドバーが挟まれたときは、作業を中止し、追口にクサビを入れて倒れる方向を矯正し、挟まれたソーチェーン・ガイドバーを取り除いてください。



お手入れ

警告

- お手入れのときは必ずスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 故障・異常時はただちにスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、本製品の使用を中止してお買い上げの販売店、または(株)高儀「お客様相談窓口」(ホームページ含む)に相談してください。

ソーチェーンの目立てについて

警告

- ソーチェーンの目立ては正しく行ってください。
- 目立てはバランスよく行ってください。不均一な場合、ソーチェーンの破断や能力低下の原因になり、重大な事故につながります。

注

- チェーンソーの目立てに必要な道具はセット内容に含まれておりません。市販の物をお買い求めください。

目立てに必要な道具	あると便利な道具
 チェーンソーヤスリ4.0mm	 ヤスリホルダー4.0mm 5/32in用
 平ヤスリ	 デプスゲージジョインター 0.025in用

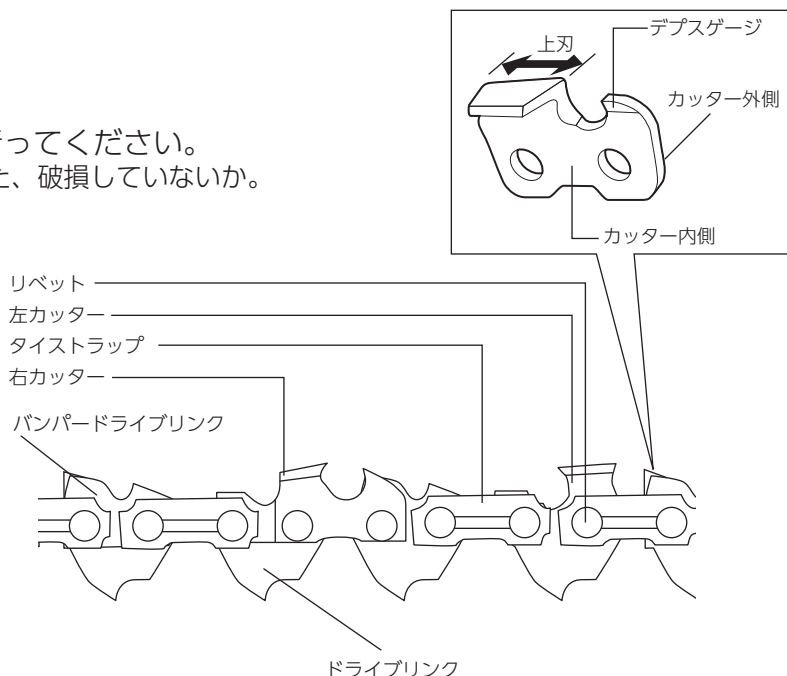
ソーチェーンは常に切れ味の良い状態を保ってください。切れ味が悪くなってくると大きい木片がほとんど出ずに細かい切りクズだけが出るようになります。切れ味がよくない状態で使用した場合、本体の寿命低下の原因になります。切りクズの細かさや食い込みの悪さを感じたら目立てを行ってください。

目立てをする前の確認

目立てをする前にソーチェーンの点検を行ってください。

- ドライ布林クなどが曲がっていないか。また、破損していないか。
- カッターなどが破損していないか。
- リベットがゆるんだり、破損していないか。

上記項目にあてはまる場合は、
すぐに新しいソーチェーンに
交換してください。

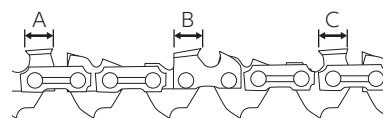


お手入れ(続き)

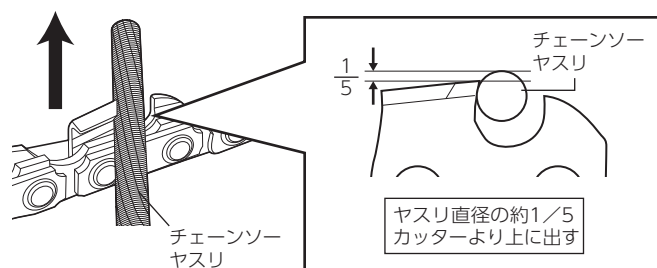
カッターの目立て方法

⚠ 注意

- それぞれのカッターは刃長を同じにしてください。
($A=B=C$)
- カッター刃長が新品の半分になったらソーチェーンの交換時期です。



- 1.ソーチェーンの張りを適正に調整してください。
- 2.チェーンソー本体をしっかりと固定してください。
- 3.刃の角度をそろえて目立てをしてください。

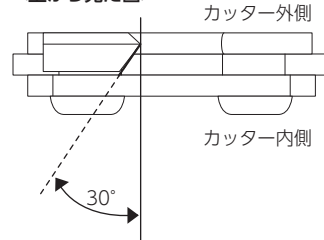


- チェーンソーヤスリ（丸）をカッターの内側から外側へ向けて使用してください。
2～3回前方に押し研いでください。

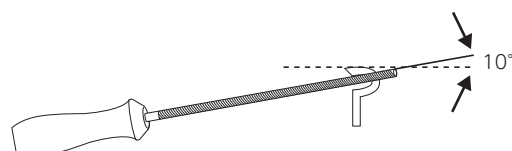
※ソーチェーンを手で送るときは、手袋をして十分注意してください。

- まず、左右のカッターの片方のみを目立てをしてから、残りのもう一方の目立てをしてください。

<上から見た図>



<横から見た図>



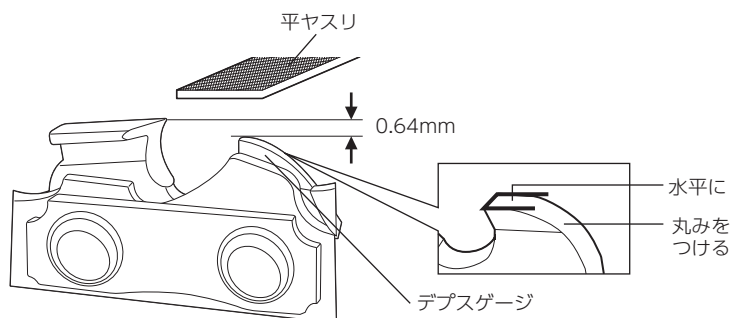
カッターのデプスゲージ調整方法

⚠ 警告

- デプスゲージの寸法が長くなりすぎるとソーチェーンが破断し、重大事故の原因になります。

デプスゲージの調整はカッターの目立て3回につき1回程度の割合で調整してください。

- 市販の平ヤスリをデプスゲージに水平にあてて、右図のように調整してください。



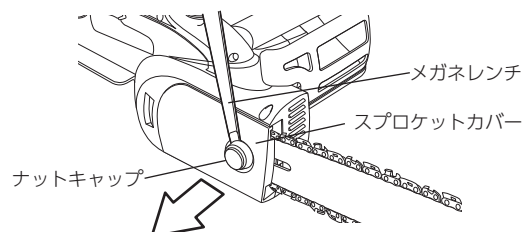
ソーチェーンの取り外し・取り付け

警告

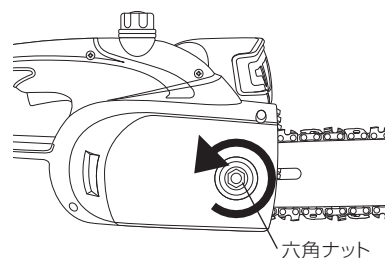
●ソーチェーン取り外し・取り付けのときは、必ず保護手袋を着用してください。(ケガの原因)

取り外し

1. ナットキャップとスプロケットカバーの間に付属のメガネレンチを差し込んで、ナットキャップを手前に外してください。

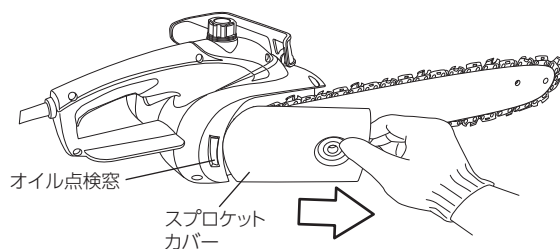


2. 六角ナットを付属のメガネレンチで外してください。

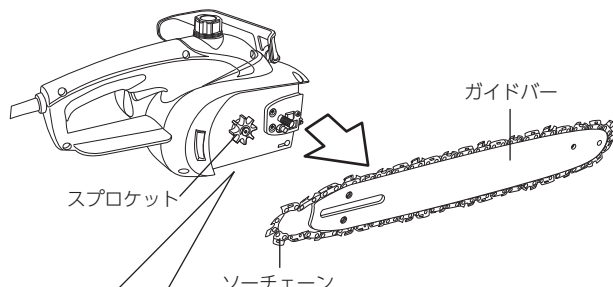
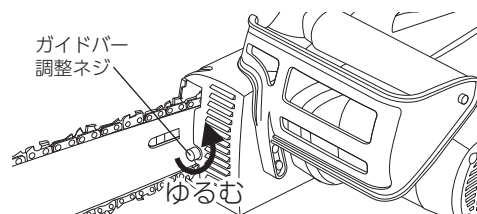


3. スプロケットカバーを外してください。

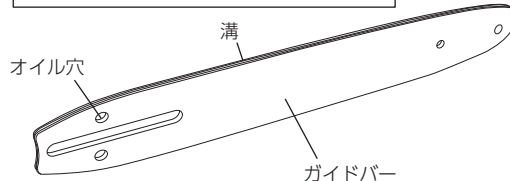
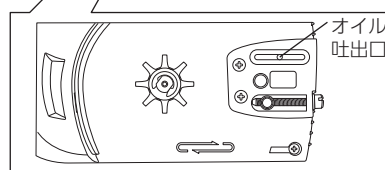
※オイル点検窓側に差し込みがつかっていますので、矢印の方向に引いて取り外してください。



4. ガイドバー根元にあるガイドバー調整ネジを左に回してソーチェーンをゆるめ、スプロケットからソーチェーンを付けた状態でガイドバーを取り外してください。



ソーチェーンを取り外したときは、オイル吐出口・ガイドバーの溝やオイル穴およびその周辺の切りクズを取り除いてください。切りクズなどが溜まっていますと故障の原因になります。



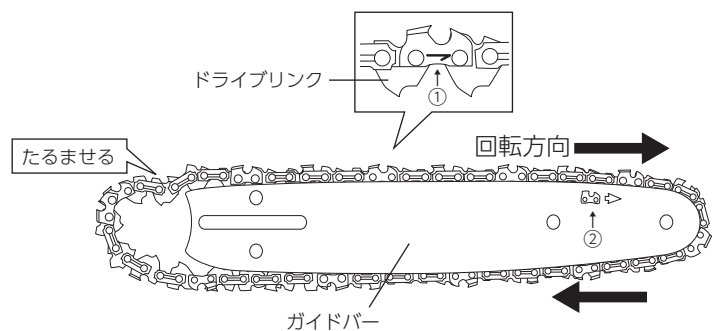
お手入れ(続き)

取り付け

警告

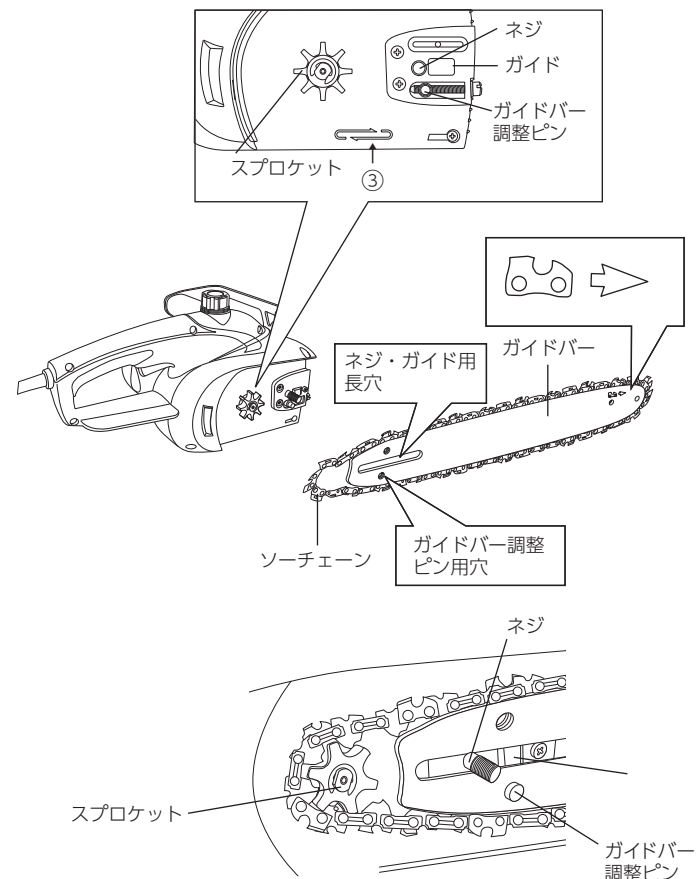
- ソーチェーンの回転方向を必ず確認し、取り付け方向を十分に確認して正しく取り付けてください。
- ソーチェーンは指定の物を使用してください。
新しいソーチェーンは別売品(または市販)の下記規格をそれぞれ使用してください。
CSEB-3805040(OREGON社91PX-40E※も使用可)
※は包装形態により変わります。

- 1.ソーチェーンの矢印(①)とガイドバーに表示されている矢印(②)の方向を合わせて、ガイドバーの溝にソーチェーンのドライプリングをはめてください。



- 2.ガイドバーの矢印(②)と本体矢印(③)の方向を合わせて、ガイドバー調整ピン・ガイド・ネジにガイドバーをはめ込んで、スプロケット側にたるませたソーチェーンをスプロケットに取り付けてください。

※ガイドバー調整ピンがガイドバーの穴に入らない場合は、六角棒レンチでガイドバー調整ネジを回転させて位置を調整してください。



- 4.取り外しと逆の手順でスプロケットカバー・六角ナット・ボルトキャップをしっかりと取り付けてください。
※六角ナットは確実に締め付けてください。ゆるむとソーチェーンが外れる恐れがありケガの原因になります。
※使用する前に必ずソーチェーンの調整を行ってください。(P.13参照)

保守・点検

定期点検

- 使用する前にひび・割れ・変形などの異常がないか点検してください。
- ソーチェーンの張り・刃先の状態が適正か確認してください。ソーチェーンは消耗品です。破損や摩耗により交換時期になった物は新しい物に交換してください。
- 各部取付ネジにゆるみがないか定期的に点検してください。もしゆるんでいるネジがあれば、しっかりと締め直してください。

カーボンブラシの点検と交換方法

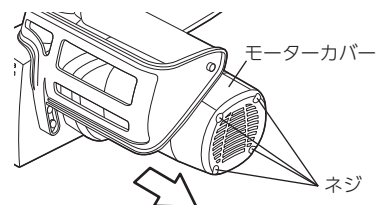
⚠ 注意

- 必ず本製品専用のカーボンブラシを使用してください。
- カーボンブラシは2個で1組です。交換するときは、必ず2個(左右)同時に交換してください。
- カーボンブラシの点検・交換には⊕ドライバーが必要です。セット内容には含まれておりませんのでお手持ちの物を用意してください。
- カーボンブラシは定期的に取り外して点検してください。

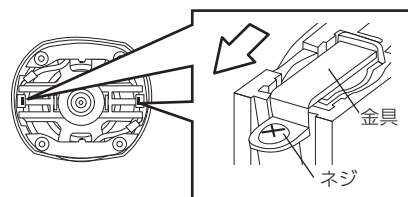
本製品のモーター部にはカーボンブラシを使用しています。カーボンブラシは消耗品です。スイッチを入れても作動しない場合は、カーボンブラシの摩耗限度を超えている場合があります。カーボンブラシの長さが6mm以下に摩耗している場合は左右同時に交換してください。

※交換用カーボンブラシのお買い求めは、本製品をお買い上げの販売店へお問い合わせください。

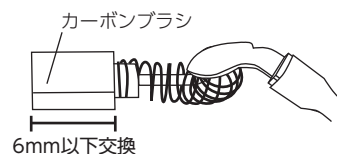
1. モーターカバーのネジ(4箇所)をお手持ちの⊕ドライバーで回して取り外してモーターカバーを取り外してください。



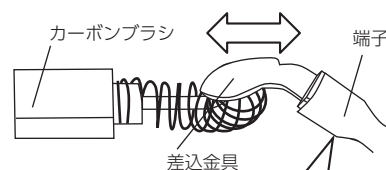
2. 金具を固定しているネジを外して、金具をスライドさせて取り外してください。(2箇所)



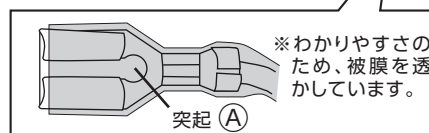
3. 中からカーボンブラシを引き出して、長さが6mm以下に磨耗していれば交換が必要です。
※交換は左右同時に行ってください。



4. 右図の位置にある端子の突起④を押し込み、カーボンブラシの差込金具をラジオペンチなどで引き抜いて、新しいカーボンブラシを差し込んでください。
※左右で端子の上下の向きが異なる場合がありますので注意してください。(右図参照)



5. 取り外したときと逆の手順で、取り付けを行ってください。



お手入れ(続き)

お手入れと保管

清 掃

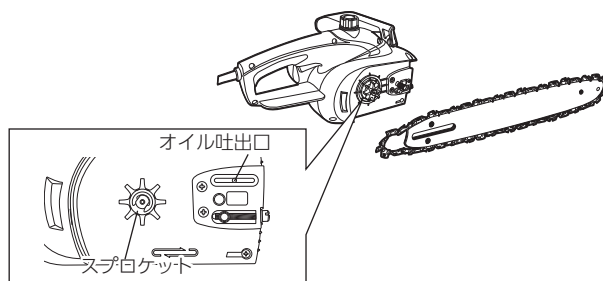
! 注 意

- 絶対に本製品を水洗いしないでください。
- 本体のお手入れに、ワックス・アルコール類・シンナー・ベンジンなどは使用しないでください。
(破損・故障の原因)

- 油やグリースが付着した場合は、柔らかい布でから拭きしてください。汚れの著しい場合は、薄めた中性洗剤を使用して水拭きしてください。その後、乾いた布で水分が残らないように拭き取ってください。
- 作動部周辺の各部に付着した切りクズなどはきれいに取り除いてください。(故障・作動不良の原因)

●スプロケットカバー内の清掃

使用後はスプロケットカバーを外し、(P20参照)スプロケットやオイル吐出口の周辺を清掃してください。
また、ソーチェーン・ガイドバーに付着した切りクズも清掃してください。



保 管

! 警 告

- 保管するときは、ガイドバーにチェーンカバーをしてソーチェーンがむき出しにならないようにしてください。

◇ 注

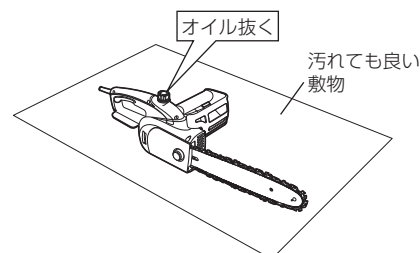
- 本製品は構造上チェーンソーオイルが漏れます。汚れても良い物を下に敷いて保管してください。

- 使用しないときは、直射日光のあたらない・風通しの良い・乾燥した・お子様の手の届かない所や、カギのかかる所にきちんと保管してください。

- 1.保管前は、ソーチェーン・ガイドバーのサビを防止するために無負荷運転させてください。
ソーチェーンとガイドバーに十分チェーンソーオイルを行きわたらせてから、電源プラグを抜いてチェーンカバーをはめてください。

※無負荷運転をするときも必ず両手で保持してください。

- 2.オイルタンク内のオイルを抜いて、オイルで汚れてもよい敷物を下に敷いて保管してください。



MEMO

[illegible]

MEMO

[illegible]

お買い上げの後に

別売品のご紹介

- 替ソーチェーンのお取り扱いにつきましては、本製品ご購入の販売店にてお買い求め・ご注文をお願いします。ご注文の際は、下記の「品名・型式・JANコード」をお伝えください。

品名	チェーンソー250mm用ソーチェーン
型式	CSEB-3805040
JANコード	4907052 377196

お買い上げの後に(続き)

保証書

販売店名・お買上げ年月日を証明できる物(販売証明書やレシートなど)が添付されていない場合、本書は**無効**となり、保証期間内であっても有料修理となります。必ずご確認ください。

- 保証期間内において取扱説明書などの注意書に従い、正常な使用・保管状態で故障した場合、本書により無償で修理致します。
- 保証期間内に故障して無償修理をお受けになる場合には、商品と本書に販売証明を付けた物をご持参のうえ、お買上げの販売店にご依頼ください。

品名	EM 電気チェーンソー 250mm			お買上げ日	年 月 日
型式	CSE-250CA	JAN コード	4907052 376991	保証期間	お買上げ日より 6ヶ月
販売店	販売証明書や レシートなどを 添付してください。				

保証規定

1. 保証内容は本製品自体の無償修理に限ります。
保証期間内におきましても、その他の保証はいたしかねます。
2. 保証期間内でも次の場合は有料となります。
 - 使用上の誤りおよび不当な修理・改造による故障および損傷。
 - お買上げ後の輸送・移動・落下などによる故障および損傷。
 - 火災・地震・水害・落雷・その他の天災・異常電圧による故障および損傷。
 - 家庭用以外(例:業務用の長時間使用、車輛・船舶への搭載など)に使用された場合の故障および損傷。
 - 本書の提示がない場合。
 - 本書に販売店名・お買上げ年月日を証明できる物が添付されていない場合、あるいは字を書き替えられた場合、個人販売など販売店が不明な場合。
3. 本書は付属品・消耗品には適用されません。
4. 本書は日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only in Japan.
5. 本書は最初の購入にのみ適用され、以降の転売・譲渡には適用されません。
6. この保証書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。
従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
7. 保証期間経過後の修理については、お買上げの販売店またはホームページからお問い合わせください。
 - 修理可能な場合は、お客様のご希望により有料で修理させていただきます。
8. 当社はこの製品の補修用性能部品を製造打ち切り後、基本5年間保有しています。※
性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
※製造部品によっては5年間保有できない場合もあります。

発売元



株式会社 高儀

株式会社 高儀 お客様相談窓口

※修理(見積り含む)・部品購入は、お買上げの販売店またはホームページからお問い合わせください。

TEL 0258-66-1233

受付時間 AM9:00～PM5:00 (土日祝日および弊社休日を除く)

ホームページ:

<http://www.takagi-plc.co.jp/>



■お客様相談窓口における個人情報の取り扱い

弊社は、お客様へのサービス提供のため、収集目的を通知したうえで必要な範囲の個人情報や相談内容を収集させていただき、その記録を残すことがありますが、個人情報を適切に管理し、修理業務などのサービスを行うために必要な範囲内で開示する場合や、正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。